

日本の復興計画の歩みと 大火後の飯田のまちづくり

—身近な建築・都市空間の読み解き方—

2026年

11月14日(土)・15日(日)

はつだ こうせい

講師 初田 香成さん(工学院大学)

飯田をはじめ日本の都市は、戦争や災害からの復興を重ねながら、今の姿へと形づくられてきました。身近なまちの風景に隠された歴史を、戦後の都市・建築の専門家から学びます。

◆日時

11月14日(土)

第1講

14:00～15:30

都市のみかた・しらべ方

第2講

15:45～17:15

震災復興と戦災復興
災害で発達した日本の都市計画

11月15日(日)

第3講

9:00～10:30

都市大火と都市不燃化運動
大火でできた日本の町並み

第4講

10:45～12:15

飯田大火の復興計画とその後のまちづくり

◆会場 飯田市役所C棟3階会議室(オンライン併用)

◆資料代 500円(2日間共通・高校生以下無料)

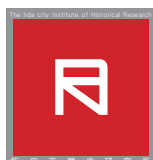
◎申込方法: QRコード、Webサイト申込フォーム、または歴史研究所まで電話・FAX・メールでお申し込みください。

◎申込内容: 氏名(ふりがな)、電話番号、参加方法(会場/オンライン)、参加される日をお願いします。

※オンライン受講の方はWebフォームからお申し込みいただくと、キャッシュレス決済をご利用いただけます。

◎申込期間: 10月1日(木)～11月10日(火)

飯田市街地(1947年8月撮影) 出典: 国土地理院の空中写真を加工して作成



飯田市歴史研究所

〒395-0803 長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670 FAX 0265-21-1173

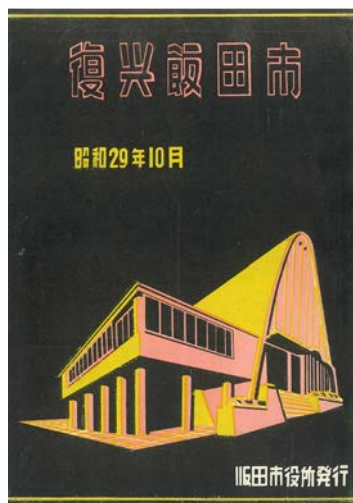
E-mail: iihir@city.iida.nagano.jp



どなたでもご参加いただけます。
お気軽にお申し込みください。

参加申込はこちら▶





大火後の飯田の市街地の風景（飯田市歴史研究所所蔵写真より）

講師より

飯田をはじめ全国には戦災や災害から復興した都市が数多く存在します。その成り立ちを理解するためには戦後や災害後の都市の変遷を知ることが重要です。戦後にできたと言うと歴史がないとも思われがちです。しかし全ての都市空間は個々の営為の積み重ねでできており、それらを読み解くことで、一見ありふれた身近な都市空間は歴史的な資源として立ち現れてきます。本講義では飯田の町の特徴に迫るために、身近な建築・都市空間の調べ方を学んだうえで、災害で発達してきた日本の都市計画や大火でできた日本の町並みの歴史を振り返ります。そして飯田大火の復興計画の特徴やそれを生かしたまちづくりに迫っていきたいと思います。

講師プロフィール

1977年生まれ。専門は都市史、建築史。「時代を後どりして身近な建築・都市空間を読み解く」をテーマに研究を行っている。著書に『都市の戦後 雑踏のなかの都市計画と建築』（東京大学出版会、2011年、増補新装版 2024年）、『危機の都市史 災害・人口減少と都市・建築』（共編著、吉川弘文館、2019年）、『盛り場はヤミ市から生まれた 増補版』（編著、青弓社、2016年）など。



飯田市歴史研究所
The Iida City Institute of Historical Research

〒395-0803 長野県飯田市鼎下山 538
TEL0265-53-4670 FAX0265-21-1173
E-mail : iihir@city.iida.nagano.jp

